

学校経営概要

三浦市で育てたい子ども像

○心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな子ども

現在、そして将来にわたって、「人として自らを信じ、向上心をもって生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○郷土と日本の歴史、経済、社会、文化を理解し、郷土三浦を愛する子ども

自分が置かれている状況を肯定的にとらえ、「三浦の魅力を心に温めて生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○世界の国々を理解し、すべての国民と仲よくできる国際性をもった子ども

自己中心的に物事をとらえるのではなく、「他も尊重しながら生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

育てたい子ども像

自立・貢献

学校教育目標を左記のように設定した。理由は、児童にはたくましく生きぬく「自立」の力と、他者或いは社会に「貢献」する心を持ってほしい。自立することで他者に貢献し、他者に貢献しようとする事で自立するための基礎を身につけさせたいという事で設定してきた。これに関わって下記の2点をめざす子ども像とした。

- ① 自分を好きになり、自分を高める子
* 子どもの自己肯定感を高める * 個に応じた的確な指導・支援をする
- ② ほかの人を好きになり、ほかの人を大切にする子
* 個のよさを他の児童へ伝える * 子どもといっしょに動く

学校経営に関する基本方針

☆児童の「生きる力」を育み、自立・貢献ができる三浦らしい心豊かで調和のある児童の育成

- (1) <学び合い> → ○基幹学力を身につける ○話を聞き、意欲をもつ ○自ら考え、判断できる
○自らの言葉で伝え合える
- (2) <認め合い・助け合い> → ○お互いを認め合える ○温かなコミュニケーション
○仲間と笑顔で協力ができる ○挨拶ができる
- (3) <思いやり> → ○自分を大切にし、友達を思いやることができる
○命を大切にし、安全や健康を考えることができる

本年度の重点

(1) 児童は教育目標に向かっているか？

- ・学校生活の中で、児童は「自立」し、向上心をもって「生きる力」を育む事ができる。
- ・児童は、社会や他者に貢献することで、「自立」し、「生きる力」を育む事ができる。
- ・児童は、楽しく学校生活を送ることができる。

(2) 教職員は、児童の健やかな成長のために自らを高め、貢献することができたか？

- ・児童一人ひとりが、安心して楽しく活動ができる学級・学年・学校を確立する。
- ・明るく元気な挨拶や優しい言葉の掛け合い、自己肯定感や他者を思いやることのできる学級・学年・学校を確立する。

(3) 学校関係者との連携は深化したか？

- ・児童の向上心を高めるため、指導場面において外部協力者等の地域の教育力の活用を可能な範囲で図る。
- ・児童の安全確保のために地域や保護者と連携した活動の充実を図る。